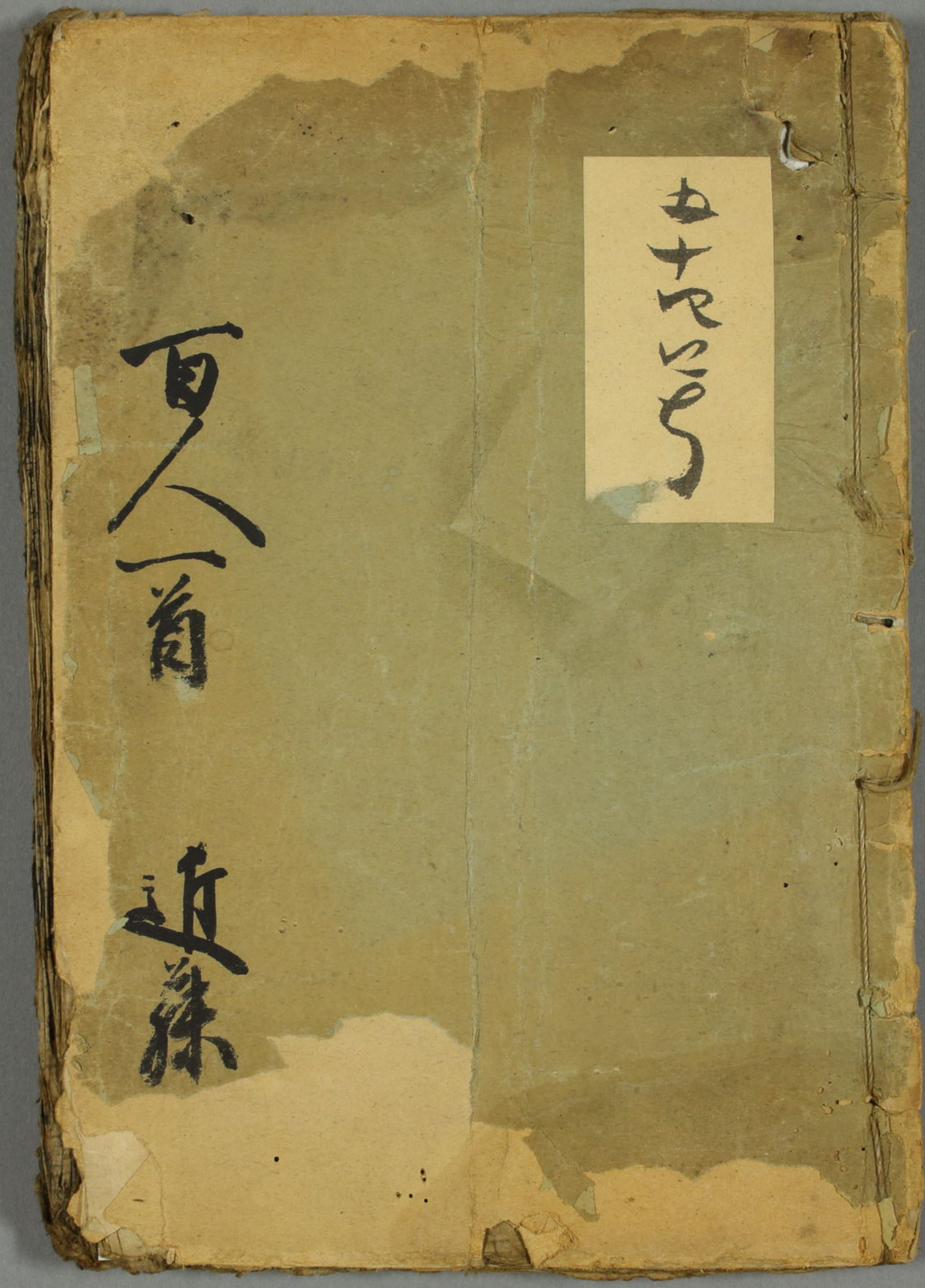

百人一首
近藤

百人一首 絵物語 序

百首ハ中納言定家卿の小倉の山荘にて選び給ふ
也しかるに紙の奇なるより代々の奇人の中にもとくまもる
歌と人一首づゝ[illegible]ひ詠人[illegible]をしと[illegible]
今の世よりおさまりひろまりなりひはよす[illegible]
流れ奇の道乃骨髄[illegible]乃ひとはくふうし
なりし百首をかりわるとや帝のさらわかれ代と
治めさう世をひ民とわい世をまた[illegible]ふまことの
[illegible]

後撰集六秋寸

[illegible]

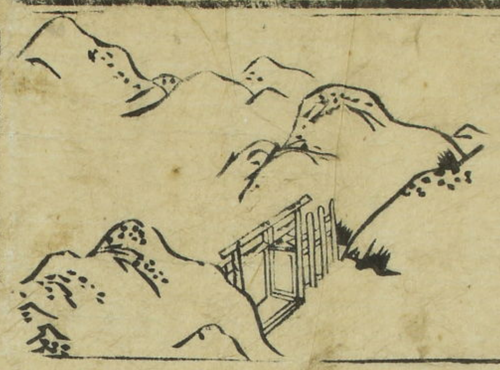
[illegible]

[illegible]

拾遺集才三冬部

柿本人丸

右今年九器雜竹



[illegible]

[illegible]

[illegible]

後撰集第十七雜中

中納言行平
立ちわかれ
いなばの山の
峰に
生ふる
まつ
人
待
きては
今
かへるも
なし

在原業平朝臣
千早ぶる
神代も
聞かず
龍田川
唐くれなゐに
水くくる
なる
上

古今集十八雜下

しもつふさのくにのえのさえ
うるさきのやしいつんなをあて
いなりの社ゆめもゆめしひち
ろまろ人をこそくきにけれわ
ねどもそのゆめよさめよ
しのびうなゐひとてよ
くとまてうてうまもこれま
うろいいろのすこしぞと
ゆりきうていなり

とりのあそのあそん

藤原敏行朝臣

任乃江の
きしみ
ちろ波
ちろ波
えや
ゆ
ゆ
ゆ

後拾遺十三 [illegible]

[illegible]

元良親王

今はたゝ
恋わたる
身をしる
人にあ
はばや
なほ
[illegible]

十二

[illegible]

素性法師

今こゝ
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
有明の
月をまち
出たるか
な

十三

古今第五秋下

このうたハ嵐のもしを
みくさきのしほれて
わりふてくうひて嵐を
山風とかきさへわろし
ことうむりしハひとさよ
とおりひわきせうろか
よむへきとをなり

文屋康秀（ぶんやのやすひで）

吹（ふ）からに
あきの
草（くさ）木（き）の
しほるれハ
むへ山（やま）風を
あらしと
いふらん

古今集第四秋上

これハ月をみれハいろ
くにもの思ふもさて
かなしきなりわか身の
身にしもあらなれお
もふにちゝに物思ふと
思わひさハもとひとの
のりものはなれね
いふなり

大江千里（おほえのちさと）

月みれハ
ちゝにもの
こそ
かなし
けれ
わか身
ひとつの
秋（あき）にハ
あらねと

古今集才十三 恋哥

古今集才九 賀歌

後撰集 第十七 雜歌

貞信公

小倉山

みちなら

今一人ひ

此年もと

新古今 第十一 恋歌

中納言兼輔

見わた

泉川

いたく

思ふ

古今才六冬部

源宗于朝臣

山さとは
冬ぞさび
しさまさる
ものは
人めも草も
かれぬと思へば

古今才五秋部

元河内御頃

白わくも
おくしや
秋萩の
乃
露
玉
ぬき
くの花

古今 才十三歳子

びあうろハそひゆくつまゝ
人のつまなくくわいわ
さらさらしのうくそひ
なくくうろくうなりかなる
の月ハつまなくのうろ
あるゝねるあるてゝれの
つくさゝしらあるさゝう
ゝとれくゝものかすゝとゝ
ゝよゝひゝうゝゝあなり

壬生忠岑

みかの原わきて流るゝいづみ川いつ見きとてか恋しかるらん

あるうちを
うたゝねの
うたれハい
かゝ

古今 才六歳子

びあうろハあるうきゝ
月なしのつまゝくゝ
ゝいハりあり月のく
うみろくくゝゝうゝ
のうゝくくゝうゝゝ
ゝうていなりゝのしよの
ゝうゝゆくゝゝくゝあ
きくくゝれ月くゝうなり

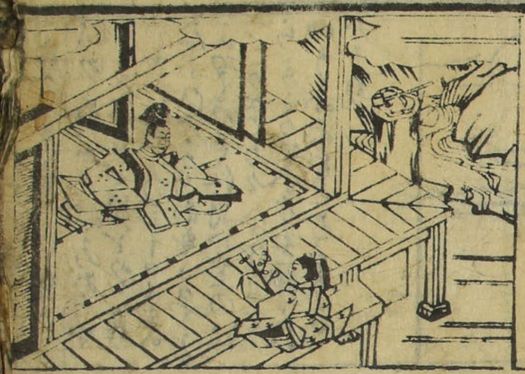
坂上是則

さかのうへのこれのり

朝ぼらけ有明の月かと見るまでに吉野の里に降れる白雪

古今集第五秋歌

古今集第二春歌



古今集巻三夏歌

ほのぼのとあかしのうらのあさぎりに
しまがくれゆくふねをしぞおもふ

なつのよは
まだよひなれど
あけぬるを
くもいづこ
つきやどるらん

後撰集六秋歌

ほのぼのとあきの野のあさぎり
しまがくれゆくふねをしぞおもふ
なつのよは
まだよひなれど
あけぬるを
くもいづこ
つきやどるらん

拾遺集才十一

拾遺集才十

後拾遺第十四長行

清原元輔

拾遺第十二長行

中納言敦忠

拾遺第十一歌

中納言朝忠

あふまでは
中々くるしき
人とも
うらみけり

拾遺第十五歌

後撰

表をも
いかでか
人を
恨ばて
身のいたづらに
なりぬべきかな

新古今才十 恋十

拾遺集第三 秋歌

源重之
風といへん
思ふなと
とのき
のく
くるまく
ゆと
おりふしける

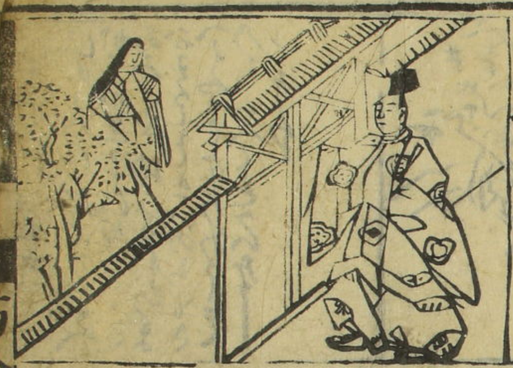
大中臣能宣朝臣
御垣もる
衛士の
たく火の
乃
夜は
ひるは
きえて
物をこそ
思へ

後撰遺才十二歌仙

後拾遺才十一歌仙

後拾遺才十二番

後拾遺才十四番



儀同三司母
長道
しのぶ
もの
思ふと
かくれい
命も
なし

大納言公任
瀧の音は
絶て
久しく
なれぬと
もなほ
聞えけれ

後拾遺第十三卷所

いにしへの人のこころをたずねてはこの世にすむかひもなしとぞ思ふ

和泉式部

あらざらむこの世のほかの思ひでにいまひとたびのあふこともがな

新古今第十五秋歌

ひさかたの月の桂のかつらをばくまなくみてぞ人はなげかむ

紫式部

めぐりあひてみしやそれとも分かぬまに雲がくれにしよはの月かな

大武三位
有馬山
いなのさゝ原風
吹ては
いとゝ人
恋しやハ

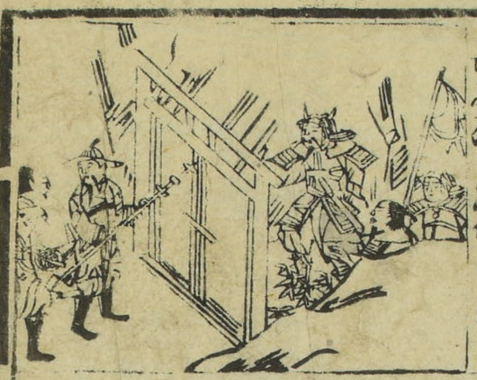
赤染衛門
有明の
月を
待つ
小倉山
峰の
紅葉
心あらば
今一度の
行幸まて

小式部内侍

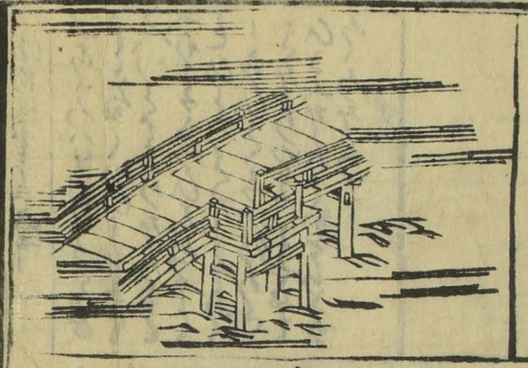
大江山いくのの道の遠けれ
まだ踏みもみず天の橋立

伊勢大輔

いにしへの奈良の都の八重桜
けふ九重に匂ひぬるかな



千載才六年十



檜井鵜飼

川霧

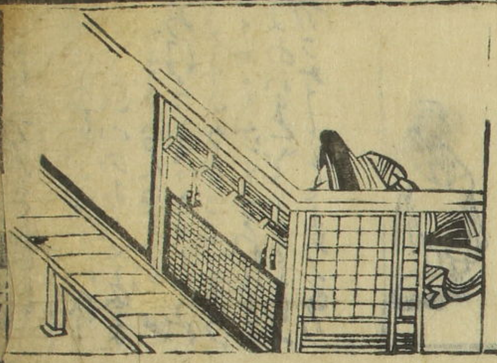
たくみ

わらはは

ましらん

はしり

後拾遺 雜六百五十四



桐壺

うらん俺

袖かさね

袖ふる

わる袖と

元亨

元亨くら

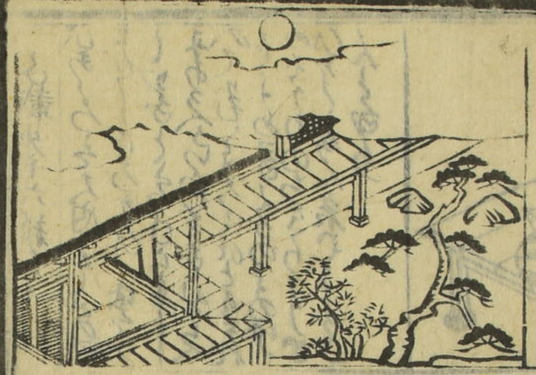
なを

なを

全盛才九郎
前大僧正行尊
もろともにあはれと思へ山桜
花よりほかに知る人もなし

載才十六新子
問防仙
春乃秋の
夢
ひかく
きむ
名を

後拾遺第十五秋歌



三条院

あらためて
こゝろ世に
すゝめ入
秋の月

後拾遺第十五秋歌

法師

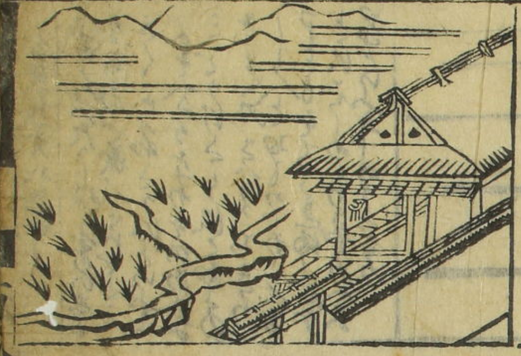
山の
ゝ
映も
秋は
龍田の
川は
紅葉
なり

撰拾遺才四秋方

ひさかたの月のかつらの花ゆへ
しらくもとなりいでてこそ
ちなつむまつのあきの
ゆふぐれもはれさびしきは
いつくとおもふしらくもの
うへまくさくさのあきの
ゆふぐれかな

良源僧正

さびしさの
宿と
ちはやく
おうむ
鳥
いたくも
妹もなくれ



金葉集才三秋方

ひさかたの月の桂の花ゆへ
風ふけはのりのみちをくる門
田のいなはもとふきなひく
しらくもの花のかつらの
うへまくさくさのあきの
ゆふぐれかな
あれはやうりとなる
くるくるくるくるくるくるくるくる
もろとりひのくるくるり

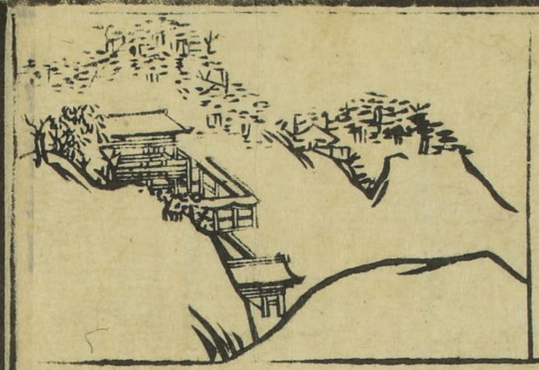
大納言師忠

夕されは
門田のいな
葉をとつ
まくる
あきの
風
秋風
風うち

金葉集第八巻

後拾遺第十巻

千載才十二番



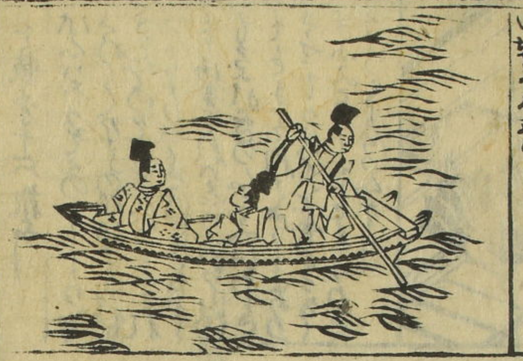
源俊頼朝臣

うらわかみ
人と
をろ
山おう
う
宇
世
いの
ね
ね

千載才十六番

藤原基俊

契りおき
きし
色も
変
命
あは
世
れ
ね



法性の入会の宴たけ

和田なん

東

たき

生く

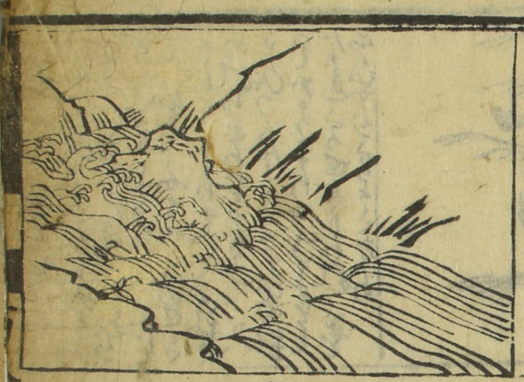
月を

クベうとう

雲井

うみ

奥ほしかき



紫流流

瀧と

思ふ

瀧

川の

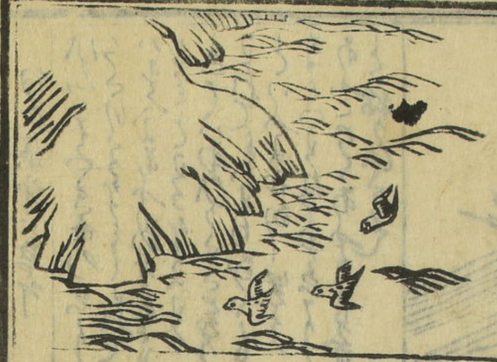
見て

と流り

あつむ

金葉集 四季 冬

びんハさひしきとまのうら
よこぐもひのくれゆくあめちら
どりとをくてふかくうし
ようまそてゐうろこのさゝ
しわしなりそいくゝ秋さ
めむちもわとをきてこゑ
とびつゝんとうろこひのあ
ひなりうつゝひまとゝ
なをこゑをさしわれつゝを
ゐひやわうろこをなわ



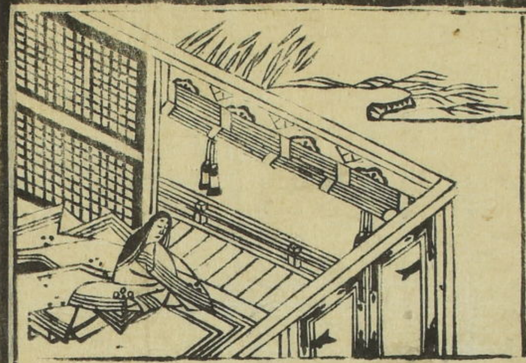
源兼昌

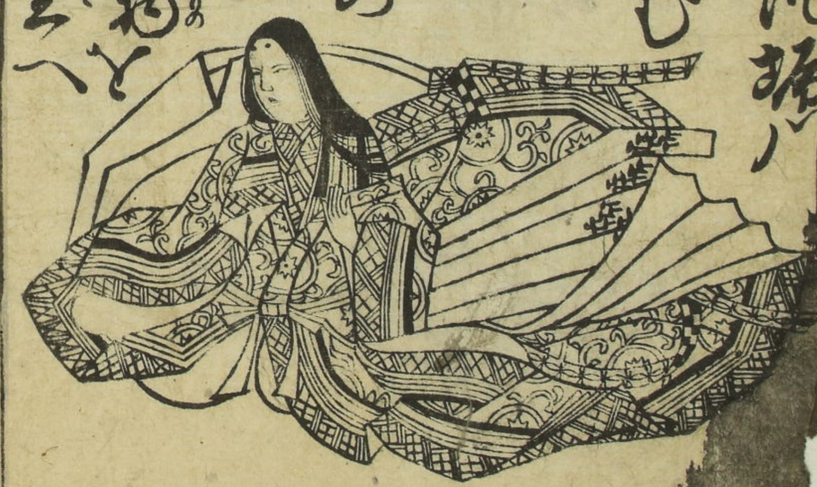
あかしうら潟
かたふく
子鳥の
なくこゑ
ちかし

いくよ秋
風
波戸の
関

拾遺集 冬 四季

ひあつゝ
とをくふく
うゝ月のひかり
つそうろ
ゝくゝ
ゝ
ゝ





載才十三 [illegible]

[illegible]

[illegible]

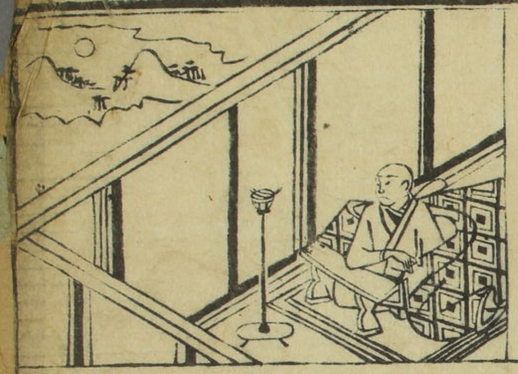
[

新古今第十八 雜部

ひとりのはなしにこのこころのまもるやのひとりぐらんとうのまもるやのひとりぐらんといまもこころにうつりくゆくもこのまとかひてよこしまもしかりこころかなりかひてよりもをゆくこころのひとりこころのあるこころかな

薮原清獨楽

かうこんは
ものこころ
あるやの
うんしの
悪しき
凡んしせう
合い悪しき



子載才十二歳

ひとりのとなりてはあるりてこれわやのもこころのひまこころのまたくあるもやるとるのくくくくこのうちのもとのもとのもと

月やハ酒を
かもしたい
うけなり
まうかみを
うれ
雨乞行法師
寒山道法師
雨乞
雨
雾を
ひね
横の
蝶の
夕ほれ
蝶の夕くも

二條流
我神は
ひるこ
神れ
人を
ちら孫
ばけ
まか

猛会大
世中は
ものを
なれ
さこく
海士乃
孫よ

第十八　末四位

[illegible]

泰盛雅綱

月見よし野

山の

姫風さわ

[illegible]

第十七　新十

[illegible]

大僧正義圓

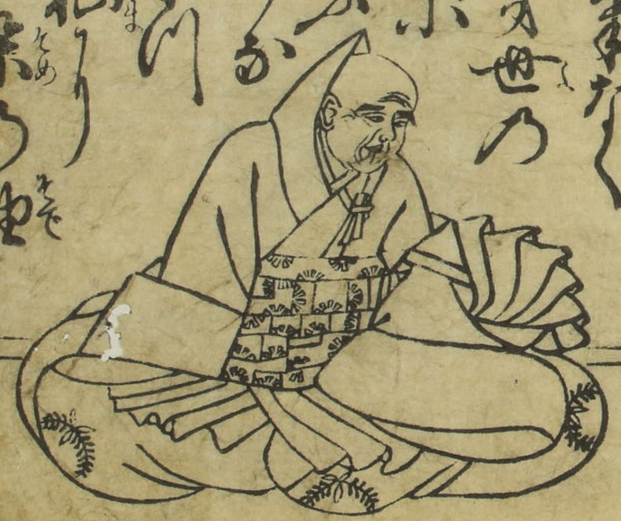
[illegible]

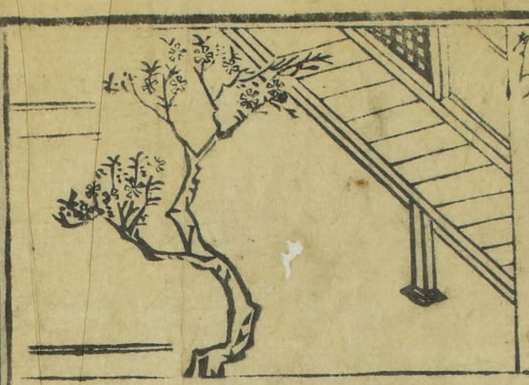
民ふ

[illegible]

わう音

[illegible]





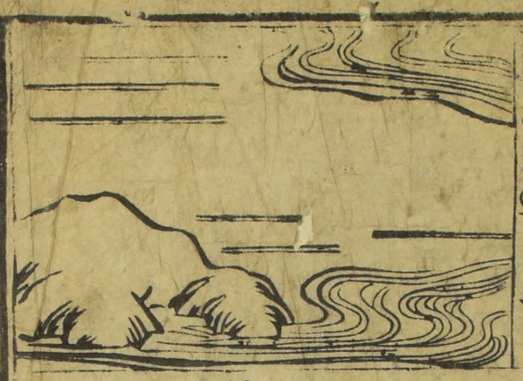
勅撰第十八雜歌

[illegible]

[illegible]

花ちるか
嵐の庭
の雪
なるか
[illegible]
[illegible]

勅撰第十九雜歌

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]